



川内小学校

◆みんなで救援・救護の学習をした「防災参観日」

川内小学校では9月になってから、予告なしの避難訓練を2回行いました。緊急地震速報を使った避難訓練で、この速報の音を聞いたらいつでも自分の身の安全を守る態勢ができるように、という防災訓練学習の環境です。

南海トラフ地震に備え、川内小学校では3～4年前から「防災参観日」を行い学校あげて防災の学習を継続して進めています。昨年度は、避難所となった学校に逃げてきたという想定で、地域の方と共に炊き出しの経験をしました。今年は9月23日に、主に救援・救護の体験学習を行いました。

この日は、低学年の子どもたちには、講師に保護者の方をお迎えし、熊本地震の災害の救援活動に行かれたときの教訓を話していただいたり、高学年では、不自由で困難な生活之余儀なく続けなければならない避難所で、何を大事にしなければならぬかを話し合って書き出し、今後にかす準備や心得を学んだりしました。

続いて仁淀消防署の7人の方々に講師として来ていただき、それぞれ4つの救援・救護の活動を縦割り班活動で、全員が行いました。

その活動は、

- ①人を安全に運ぶ簡易担架づくり体験
- ②三角巾など布を使って、すぐに処置をする応急手当のしかた
- ③いざというときの救命法の一つであるロープのくくり方の体験
- ④段ボールとビニールを使っての簡易トイレづくり

子どもたちは、一人ひとり手ほどきを受けながら実際に学ぶことができました。班の仲間と協力し、みんなで教え合うことで互いに助け合え、それが自分や周りの人のために役に立つことなどを楽しく学びました。

この活動を通して、子どもたちは自分が「助かる人」になることはもちろんのこと、自分も助ける人になれるという経験をすることができました。とても貴重で、積極的な防災訓練の体験学習でした。



のぞみ教室

◆室外活動

生徒にとって中学校での一番の思

い出は修学旅行です。修学旅行に行けなかった生徒の思い出づくりと室外での体験や交流を通して自分自身を見つめ直す機会として、9月28日にユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)へ行ってきました。

当日、全員そろって出発できるのか心配していましたが、保護者の協力もあって計画通り出発できました。

途中、立ち寄ったサービステリアで出会った徳島県の中学生も遠足でUSJへ行っているところでした。修学旅行生が多い時期とは聞いていましたが、すぐ隣の県から遠足で行っていたことを知って、驚きました。



USJでの活動は天気にも恵まれ、生徒はアトラクションに乗り、ショーを楽しんでいました。

- ・生徒の感想文の一部を紹介します。
- ・アトラクションはすごい技術で迫力満点だった。
- ・ハリポッターエリアでは映画の世界が再現されていて、魔法体験にすごく感動した。
- ・アトラクションに乗るのが、初めは怖かったけど、頑張っって乗ることができてよかった。

・もう1回乗りたいアトラクションがあったけど、時間的に無理だったので、また機会があれば行きたい。

USJ内では1～2つの集団で行動できたので、みんなで同じ体験をし、思い出を共有することができました。また、のぞみ教室のメンバーで行ったからこそできた体験もあったと思います。

◆相談支援チームについて

本年度から、スクールソーシャルワーカーをのぞみ教室に配属し、教育相談員、教育研究所の教育指導員とともに、相談支援チームとして取組を始めます。

町内の小・中学校の子どもの不登校、いじめ、問題行動などへの取組、児童生徒及び保護者や学校教職員の不安や悩みの支援に向けた相談にも対応しています。

学校へ出向き、学校での課題を探り、困っている児童生徒の置かれた環境へ働きかけ、適切な機関へ繋ぎ、積極的に安心して居られる場づくりにも取り組みます。

また、のぞみ教室では、不登校期間の学力保障や居場所づくりのみならず、不登校に至らないように、予防の視点に立った働きかけも行っていきます。問い合わせはのぞみ教室(☎850-4560)までご連絡ください。